

2017年4月10日  
ソニーライフ・エイゴン生命保険株式会社

## ～社会貢献活動～

### ソニー仙台FCの「Kids D3 プロジェクト」に寄付金贈呈

ソニーライフ・エイゴン生命保険株式会社(代表取締役社長:西野彰)は、ソニー仙台フットボールクラブ(以下、FC)が本拠地周辺の幼児・児童の健やかな成長支援を目的として実施している、社会貢献活動「Kids D3 プロジェクト」への寄付金を昨年同様に贈呈しました。

当社では、社会貢献活動を社員に推奨しており、今回の寄付金もその一環です。社員から寄せられた募金額に、会社が「マッチングギフト方式」で拠出した同額を加えた124,250円を2017年3月31日に送金しました。

当社は、日本と世界をそれぞれ代表する金融機関であるソニー生命とエイゴン(オランダ)との合併により設立された生命保険会社で、2009年に営業開始して以来、“個人年金を人生年金へ”をスローガンに、「長生きすることが幸せだと心から思える社会の実現」に取り組んでおります。年金保険商品のエキスパートとして、人生における様々なステージで、お客さまを支え、描いた夢や想いを実現に導き、将来に向かって希望や安心をもたらす“人生年金”をお客さまに提供することを目指しております。

#### <ソニー仙台FC>

1968年にソニー仙台サッカー同好会として発足後、宮城県リーグ、東北リーグを経て、1997年にJFL(日本フットボールリーグ)に昇格。2011年3月11日の東日本大震災により甚大な被害を受け活動を一時休止するも7月には復活参戦し、2015年にはリーグ初優勝を果たしました。

#### <Kids D3 プロジェクト>

2011年3月の東日本大震災で大きな被害を受けた本拠地・多賀城市や仙台市周辺地域の子どもたちを支援するために始動。周辺の幼稚園・保育所の園児や小学生児童が参加するサッカー教室等に選手を講師として派遣しています。サッカーの実践を通じて「出来た」「大丈夫」「出会い」の3つの“D”を体験してもらうことで、子どもたちの健全な成長に貢献することが目的です。

以上

